

## 平成 30 年度第 1 回向日市障害者計画策定委員会

【日 時】平成 31 年 2 月 6 日（火）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで

【場 所】向日市福社会館 3 階 大会議室

【出席者】（委員）

拾井委員（委員長）、山本委員、因幡委員、稲葉委員、石井委員、栗森委員、  
植田委員、宮川委員、山口委員、井上委員、吉田委員、能塚委員、桶谷委員、  
水上委員

（事務局）

川本副部長、長谷川課長、岩谷係長、山中係長、山中主任

（傍聴者）

2 名

【内 容】

1. 開会

2. 議事

（1）第 3 次向日市障がい者計画進捗状況について

（2）第 4 期向日市障がい福祉計画実績報告及び第 5 期向日市障がい福祉計画・第 1  
期向日市障がい児福祉計画進捗状況について

（3）その他 意見交換

【概 要】

1. 開会

2. 議事

（1）第 3 次向日市障がい者計画進捗状況について

・事務局から第 3 次向日市障がい者計画進捗状況について説明を行った。

《意見の要旨》

＜委員＞障がい者の日実行委員会「スポーツのつどい」の競技参加申込数について、参加  
申込者が増えた要因・理由があれば教えて欲しい。

＜事務局＞実行委員の方々のご意見を元に、新種目の導入、参加申込の案内を見やすい位  
置に配架する等といった工夫は行ったが、大幅に何か変えたということはない。ただ、  
参加申込数は増加してきており、特に今年度は子どもの参加者が多かった印象がある。  
過去から継続してきたことが浸透してきたのではないかと考えている。

- <委員長> 毎年参加されている方もおられるのか。
- <事務局> 毎年参加いただいている方も多数おられる。障がいのある方の団体からも実行委員に選出いただいております、その方々のご尽力のおかげでもあると考えています。
- <委員長> リピーターが多いということは、それだけ満足度の高い催しとなっており、そこから横展開で広がって参加者が増えてくると言えるのかもしれない。
- <委員> 障がい者の日実行委員会「あそびの広場」について、最初はなかなか遊びに積極的になれなかった子どもも、周囲の姿を見て一緒に遊び出すなど、非常に盛況であった。
- <委員長> 外に出ると楽しめると思うので、外に出るきっかけ作りが大切だと思う。
- <委員> 2点質問がある。1点目は、中学生の職場体験について。実習先に障がい者支援施設も入っているのか。2点目は、優先調達の実績について。どのような物品を調達し、金額がいくらになっているのか教えて欲しい。
- <委員> 介護施設、障がい者支援施設、そして今日の会場である向日市福祉会館にも職場体験としてお世話になっている。
- <委員> どの施設も就職希望が少なく、人手不足となっている。中学生の頃から、介護施設だけではなく、障がい者支援施設も見たいという気持ちがある。
- <委員長> 職場体験は、だいたい何日くらい行うものなのか。
- <委員> 前後の指導時間も含めて、1日6時間を4日間行っている。
- <事務局> 優先調達の詳細について、平成29年度は13件。内訳は物品が4件、役務・サービスの提供が9件。金額は1,802,422円である。平成28年度の実績が1,442,292円であり、およそ350,000円増加している。
- <委員長> 実際に障がい者支援施設等から物品を調達して、満足度はどうか。
- <事務局> 障がい者の日実行委員会「啓発部会」で作成した手話のクリアファイルについて、レイアウト等が大変好評であり、デザイン的な部分についても満足度は高いと感じている。
- <委員長> 物品を提供する側としても、より購入してもらえるような努力、工夫は必要となってくると考える。
- <委員> 成年後見制度について、大変難しい取組であると感じている。困っている方に対して適切な相談支援ができる体制作りをしっかりと進める必要がある。向日市は他市町村と比べても進んでいる方であると思うが、真に困っている方が気軽に相談できる状況を常に整え、推進していくことが大切であると思う。
- <委員> 障がいのある方が様々な製品を作っておられ、それを展示される機会もあると思うが、人の出入りが多い場所での展示を行う等の工夫ができることもあるのではないかと思います。また、展示品を購入したい時のため、購入方法がわかるようにすればよい。
- <委員長> 展示も最終的には購入に繋がっていくことが目的であると思うので、展示場所を検討する、購入方法を示すことは良いことだと思う。
- <委員> 今年度、社会福祉法人が共同で授産製品を販売し、その売り上げの一部で共同募

金を行うという取組をした。その売り上げは計上されているのか。

<事務局>共同募金の取組は含まれていない。

<委員>事業所は作る力はあると思うが、売る力が弱いと感じる。良い物を作っているのだから、うまく販売できるとさらに良い。例えば、ただ展示するだけでなく、販売元の事業所パンフレットを設置するなど工夫できる部分はあると思う。

<委員>就労を支援するネットワークについて、どのようなものがあるのか教えて欲しい。また、就労に関する相談支援について、どのくらいの件数があり、どのような内容になっているのか教えて欲しい。

<委員>自立支援協議会の中の就労支援部会は、乙訓2市1町の行政機関、事業所、アイリス等というメンバーで構成され活動を行っている。同友会の方々とも連携し、実際に同友会に所属している会社を訪問して取組等を伺っており、就労前の実習体験についての話もしている。他圏域と比較して、乙訓圏域は取組が進んでいると感じている。

<事務局>件数については事務局では集約していない。就労に加えて、生活に何らかの課題を有しておられる方については、アイリスに繋いでいる。アイリスは労働局の管轄になっており、直接職場とのパイプを作っていただきながら、職場での課題と地域生活の中での課題と双方照らし合わせて支援をしていただいている。

<委員>障がいのある人たちがどのような暮らしをしているか知らない方がまだまだ多いと感じる。手帳交付時やタクシーチケット配布時に、障がい者福祉のてびきの後ろに記載いただいている各団体の紹介ページについて、一言紹介を行って欲しい。

<事務局>てびきに団体紹介のページを設けており、配布の際に紹介するよう努めている。しかし、タクシーチケット交付時については、来庁者が非常に多く、集中するため紹介することは難しい。

<委員>てびきに掲載してもらっているが、かなり後ろに載っており、団体紹介が目止まらないこともあると思う。てびきの前の方に掲載してほしい。

<委員>団体紹介のページについては色紙を用いる等、何か工夫できることはあるかもしれない。そのあたり相談しながら取り組んでいけるのではないかと思う。

- (2) 第4期向日市障がい福祉計画実績報告及び第5期向日市障がい福祉計画・第1期向日市障がい児福祉計画進捗状況について
- ・第4期向日市障がい福祉計画実績報告及び第5期向日市障がい福祉計画・第1期向日市障がい児福祉計画進捗状況について説明を行った。

《意見の要旨》

<委員>同行援護と行動援護の違いについて教えて欲しい。

<事務局>同行援護は主に視覚障がいのある方が外出をされる際に使っていただくサービスである。行動援護は知的障がいや精神障がいがかきかけで行動障がい等があり、外

出時に手厚い支援が必要な場合に使っていただくサービスである。

<委員>就労系サービスを利用されている方の年齢層について教えて欲しい。

<委員>就労継続支援A型の場合、雇用契約を結んで受けていただくサービスであり、就労移行支援は2年間という有期期間で一般就労を目指される方が対象となるため、比較的若い方が多いと思われる。就労継続支援B型については、若い方もおられるが年齢層の高い方もおられる印象である。

<委員>就労定着支援について、アイリスによる就労支援と、この就労定着支援の人数はリンクしているのか。

<事務局>就労定着支援は平成30年4月から新設されたサービス。一般就労された後、短期間で離職してしまうケースも多いということもあり、一般就労後の部分をフォローしようという目的で新設されたものである。向日市の状況としては既にサービス利用されている方が1名、まもなく支給決定される予定の方が1名おられる。今後、一定の流れができていくと対象者は増えていくと考えている。

<委員>放課後等デイサービスについて、計画値と比べて実績値が大幅に上回っているが、こういった要因が考えられるのか。

<事務局>前期計画策定時点で、大幅な伸びを予想できていなかった。当初は乙訓圏域に4か所しかなかったが、平成28年度以降9か所増え、現在13か所あり、選択肢が増えたことも増加の要因であると考え。数値として出ているものではないが、教育機関と福祉との連携が進んできていることも要因の一つであると考え。

### (3) その他 意見交換について

- ・市民会館に必要な機能や配慮について意見交換を行った。

#### 《主な意見》

- ・大人の障がいがある方がオムツを替えられるような設備がほしい。
- ・大きな音が苦手な方のため、また、乳児の泣き声等で周囲への配慮が必要な場合もあるため、クリアパネルなどで囲われた個室があれば良い。
- ・車いすスペースに介助者や家族などが同席できるよう配慮してほしい。
- ・ストレッチャーで車の後部から乗降するため、車いす用の駐車スペースは横幅だけでなく、奥行きも確保してほしい。
- ・エレベーターはストレッチャーのような大型の介助用具が積載できるだけのスペースを確保してほしい。
- ・ドアは開き戸ではなく、引き戸にすることで車いす利用者も開閉しやすくなる。
- ・ステージに登壇する際、階段だけでは車いす利用者は登壇できない。
- ・車いすスペースをホール前面に集中させると、成人式のときなど友人の近くに座れないことがあるため、車いすスペースの配席をばらしてほしい。

- ・車いす用の駐車スペースを多めにとってほしい。通常のトイレも広めにスペースを確保してもらうことで車いす利用者も使えるかもしれない。
  - ・清掃業務等、建物の管理で障がいのある方が就労している事業所が参入し易くなるような配慮をしてほしい。
- 
- ・障がいのある人が災害時に避難所で過ごすために配慮すべき点、必要なものなどについて意見交換を行った。

#### 《主な意見》

- ・障がいのある人専用のスペース、手話や要約筆記の方が集まれるような場所がほしい。
- ・大人の障がいのある方や重度の障がいのある方でも利用できる洋式トイレが必須。  
二足制の場合、着脱場所に靴が散乱していると車いすが通行できないため、通路を確実に確保してほしい。
- ・車いすを常設してほしい。
- ・人工呼吸器など使用できるよう、電源の確保も必要。
- ・自分が避難する避難所にどのような設備があるのか、どんな場所なのか、事前に情報がほしい。
- ・重度の障がいのある方は通常の避難所では過ごせない。個室又は少人数でのスペースがないと難しい。
- ・電源はもちろん、ペースト状の食事やゼリー状の飲料水、大人用の紙おむつなども必要。

#### (4) その他

- ・事務局から来年度のスケジュールについて、報告を行った。